



安全・安心な  
千葉の農畜産物を  
お届けします

# 2021 事業案内



JA全農ちば



# 令和3年度事業計画の基本的な考え方

JA全農は、「すべては組合員のために、そして消費者、国民のために」という基本姿勢のもと、引き続き自己改革の取り組みを加速するとともに、急速に変化する生産・流通・消費構造や海外情勢に対応するため、**5年後、10年後を見据えた取り組み**を展開します。

千葉県本部では、自己改革を推しすすめ、生産コストの低減や省力化・多取化の提案を強化し、産地づくりを支援することで、生産面積拡大や反収アップをはかります。

これを土台に、系統結集による販売力強化と系統取扱シェアの拡大に取り組み、農業者の所得増大や農業生産

の拡大、地域の活性化、各種メディアを活用したPRや通販・eコマース事業の強化による県産農畜産物の消費拡大・輸出拡大に取り組みます。

また、自然災害からの復旧・復興の取り組みの継続、家畜伝染病の予防抑止に取り組みます。

## 3か年計画の重点取組事項

### 自己改革の前進

### 農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化

### 取り組みの柱・令和3年度の重点取組事項

#### 系統結集による販売力強化

- JA域を超えた「オール千葉」体制による集荷・販売
- 出荷規格の統一・簡素化と広域選果場の設置協議
- 買取販売の拡大、連合農業倉庫の活用による買取数量拡大
- 「房総ポーク」の集荷拡大による販売力強化
- 県産農畜産物の輸出拡大

#### 系統取扱シェア拡大

- 千葉県農業者総合支援センターと連携した系統未利用・低利用の生産者への推進強化
- 水田活用米穀の取扱拡大
- 肥料銘柄集約や担い手直送規格農薬の取扱拡大

#### 省力化・多取化

- 農業労働力支援の安定的な稼働体制の構築
- 農業ICTや新技術を活用した営農支援
- 水稻省力・低コスト技術の普及拡大

#### 生産コスト低減

- 手取り最大化の取組拡大
- 土壌診断に基づく適正施肥提案
- 肥料銘柄集約や担い手直送規格農薬の取扱拡大

#### 産地づくり

- GAP指導員の育成と「するGAP」の推進
- JA営農指導員のレベルアップ研修会の開催
- 「品目別専門指導員」の育成

#### 暮らしへの貢献

- 国産農畜産物を主原料とした食品の取扱拡大
- シロアリ防除事業や健康機器の取扱拡大
- JA石油小売り機能の強化や営農用燃料の取扱拡大
- 資産管理事業ならびに住宅事業の取組強化

#### 広報活動の強化

- TV、ラジオ、SNS等の活用による県産農畜産物のPR
- JAグループ千葉広報連絡協議会との連携による情報発信

#### コロナ禍での消費拡大対策

- コロナ禍での県産農畜産物の消費拡大に向けた積極的な情報発信
- 消費動向の変化に対応した宅配・eコマースの取扱拡大

#### 自然災害・家畜疾病への対応

- 台風特別支援要領に基づく支援の継続
- 産地応援・販売促進活動の展開
- 家畜伝染病の予防・抑止

#### JA支援の取り組み

- 「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」の取り組み
- 「経済事業強化メニュー」の充実と実践支援
- 見える化プログラムによる個別JA支援



### 持続可能な開発目標(SDGs)とは

SDGsとは「持続可能でよりよい世界を目指すための国際社会共通の目標」のことで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載される形で2015年9月の国連サミットにて採択されました。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために、17の目標・169のターゲット・244の指標で構成されており、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

「JA全農ちば」は協同組合精神と使命・経営理念に基づき、様々な事業の実践を通じてSDGsに積極的に取り組みます。

# 営農支援部

## ● 営農企画課

農業ICTや新技術（Z-GIS※・ドローン等）を活用した営農支援と、収穫支援などパートナー企業と連携した農作業受委託による農業労働力支援の安定的な体制構築に取り組んでいます。

※Z-GIS：全農版クラウド型営農管理システム



ドローン講習会の様子

## ● 営農技術普及課

省力・低コスト技術の普及拡大や食の安全・安心推進等により、生産者の所得向上に取り組んでいます。また、産地づくりのための人材育成支援として、JA営農・経済担当職員のレベルアップ研修・品目別専門指導員の養成の他農業後継者、新規就農者に対して栽培研修等を実施しています。



トマト実証圃

## ● 営農技術センター

優良種苗の安定供給による生産の維持・拡大と、栽培実証施設による果菜類の高生産技術の実証試験を行っています。

各種生産資材の評価試験や土壌診断に基づく施肥提案を実施し、省力・低コストに対応した栽培技術を支援します。

# 園芸部

(2021年度計画 857億円)

## ● 園芸事業企画課

産地との連携をはかるため、県内に推進事務所（南総、千葉、東総）を設置し、主要7品目（だいこん・にんじん・キャベツ・ねぎ・きゅうり・トマト・さつまいも）の生産振興を重点的に取り組むとともに、マーケットインによる加工・業務用品目の取り組みを強化します。

また、千葉県農業者総合支援センターと連携した系統未利用・低利用生産者への推進強化による系統取扱シェアの拡大に取り組んでいます。



県産青果物フェアの様子

## ● 園芸販売課

パートナー市場と連携したオール千葉体制による市場販売の強化に向け、だいこんやにんじん等の主要7品目を中心に、取引先を明確にした契約販売や直送別注販売を始めとした予約相対取引の拡大の取り組みの他、コロナ禍を踏まえた販売促進に取り組んでいます。

## ● 園芸直販課

生協や外食・中食向けサプライヤーへの提案強化による実需直販の拡大と、東南アジア諸国を中心とした千葉県産農産物の輸出拡大に取り組んでいます。また、SNS等を活用した県産農産物の消費拡大に取り組んでいます。



青果集品センター

# 米穀部

(2021年度計画 108億円)



## ●米穀特産事業企画課

需要に応じた米生産として、「飼料用米」や「加工用米」等の作付け推進の他、販売先を確保した「実需者提携米」の生産拡大支援や米麦種子、紙袋、フレコン等食糧資材を組合員に供給しています。

また、日本一の生産量を誇る千葉県産落花生のさらなる生産振興をはかるため、むき実種子の供給やレンタル農機の利用拡大、新品種「Qなっつ」の販売促進にも取り組んでいます。

## ●米穀推進課

千葉県産米の安定取引に向け、消費宣伝活動による知名度向上と安定集荷・販売に努めてまいります。

また、令和元年に竣工した千葉米ターミナル北総を中心に、県内連合倉庫を活用した集荷・検査を実施し、実需者直接販売および買取販売の拠点として取り組んでいます。



Youtubeでの県産米のPR

# 畜産部

(2021年度計画 111億円)



全農のお肉工房 印西店



コンサルタントの巡回指導

## ●畜産酪農課

肉豚事業では、銘柄豚「房総ポーク」の知名度向上、県産豚肉の集荷頭数の拡大に取り組み、販売力強化による生産者の経営維持および生産拡大をはかります。

肉牛事業では、生産者の所得安定化に向け、予約相対取引の強化およびJA全農ミートフーズ(株)と連携した輸出事業をすすめます。

酪農事業では、酪農生産基盤維持・拡大のため、技術コンサルタントの巡回指導により、生産者の手取り額向上に取り組んでいます。

また、直売店舗の「全農のお肉工房」やインターネット販売サイトの「JAタウン」では、県産の系統取扱ブランド肉やその加工品の販売を通じ、知名度向上と消費拡大に取り組んでいます。

## ●肥料農薬課

安全・安心で美味しい作物づくりのための高品質・低価格肥料の供給と、「担い手直送規格(愛称:メガ得)」農薬の取扱強化や水稲一発除草剤の品目集約などにより、生産コスト低減に努めています。



パイプハウス自力施工研修

## ●資材課

農作物の出荷に必要な段ボールなどの出荷資材をはじめ、農作物の生産に必要なパイプハウスなど農業資材や種苗の安定供給に取り組んでいます。

また、資材コスト低減や作業効率の改善に向け、低コスト原紙段ボールやノンステープル段ボールの提案、環境に配慮した生分解性マルチの利用拡大に取り組んでいます。

## ●農業機械課

低価格モデル農機の共同購入機(中型トラクター)や農機シェアリース(大型コンバイン)の普及とレンタル農機の取扱拡大、中古農機の流通拡大により生産コストの低減に取り組んでいます。

また、農機事業の維持・強化に向け、基幹整備センターの利用によるJA域を越えた取扱拡大をすすめます。



中型トラクター



安房広域物流センター

## ●物流課

JAの物流コスト削減に向けて、広域物流センターを運営し、組合員宅への購買品(生産・生活資材)の戸配送に取り組んでいます。

また、戸配送を活用した購買品や販売品のJA店舗・集出荷場間の転送等によるJA物流業務支援、青果物の圃場・庭先集荷等による組合員支援をすすめます。

# 生活部

## ●生活燃料課

生活事業では、県内直売所やJA支店等において、国産農畜産物を主原料にした「エーコープマーク品」・「全農ブランド商品」・「ニッポンエール商品」の取扱拡大に取り組んでいます。取扱拡大にあたり、SNSを活用した商品PRを実施します。

また、シロアリ防除事業や健康機器の取り扱いを通じ、地域の豊かな暮らしを応援します。

燃料事業では、営農用燃料油の新規利用拡大やJA-SSの運営支援に取り組んでいます。



# ニッポンエール

にっぽん生まれ、にっぽんそだち。

## ●施設住宅課

JAと連携した組合員への土地有効活用の相談・提案活動を強化します。

また、一級建築士事務所による計画的建替、補改修等の相談・提案活動に取り組んでいます。



全農施行物件



北総広域連合農業倉庫(愛称:千葉米ターミナル北総)

# 管理部

コンプライアンスの徹底と各事業部門のサポートを適切に行うとともに、県本部内の経営状況の把握、事業計画の立案、計画的な人材育成をすすめていきます。

また、各種メディア・HP・SNSを活用した積極的な情報発信に取り組んでいるほか、県内JAの経済事業収支改善・組合員サービス向上に向けた取り組みをサポートします。



県本部 PR動画

# 社会貢献

## ●SDGsに係る取り組み

- 環境保全型農業の推進  
鶏糞燃焼灰や堆肥等の活用による環境に配慮したコスト低減肥料の普及  
化学農薬使用回数の削減による散布労力削減に向けたIPM農薬の普及  
バイオマス成分を含む資材の供給
- 農福連携による農業労働力支援
- フードバンクへの千葉県産米等提供



## ●スポーツ支援活動

- JA全農WCBF少年野球教室への県産農畜産物提供
- 全農杯全日本卓球選手権大会千葉県予選への県産農畜産物提供
- 全国高等学校野球選手権大会、選抜大会出場校への県産農畜産物提供
- ジェフユナイテッド市原・千葉への千葉県産米・加工品の提供
- 相撲部屋への米の贈呈



JA全農WCBF少年野球教室

## ●各種支援活動

- 新型コロナウイルスの影響で困窮している県内大学で学ぶ学生を対象に千葉県協同組合提携推進協議会(9団体)による食料等支援の実施
- NHK歳末助け合い募金
- エコキャップ運動への参画
- 食育活動



大学生への食料等支援

# 関連事業

## ●株式会社 ジェイエイライフ・千葉

「すべては葬家のために」を信条とし、故人とご遺族の想いに寄り添い、事前の相談からサポート、アフターフォローにいたるまで、心をつくした信頼のサービスを提供します。



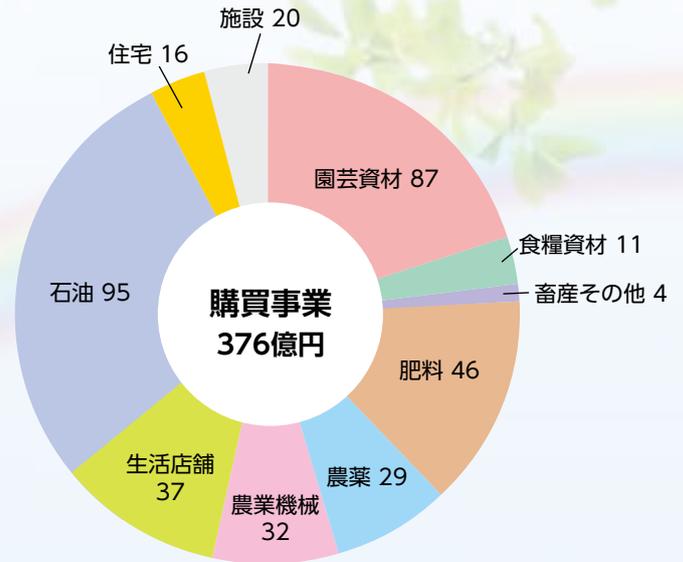
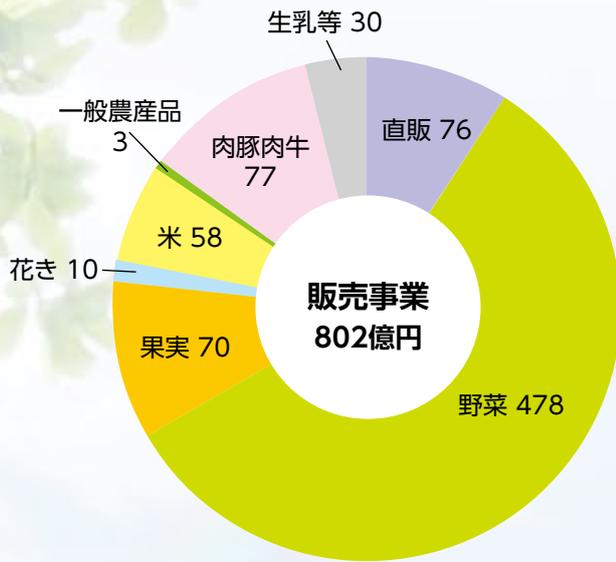
## ●株式会社 JAエネルギー千葉

「クミアイプロパン」のブランドで千葉県内JAの生産者を中心とした一般家庭向けと業務用のLPガス販売事業を行っています。LTO S(LPガスタータルオペレーションシステム)にて、お客様の使用状況、配送管理等を行っています。

また、JA組合員が日々利用している電気の販売を行っています。

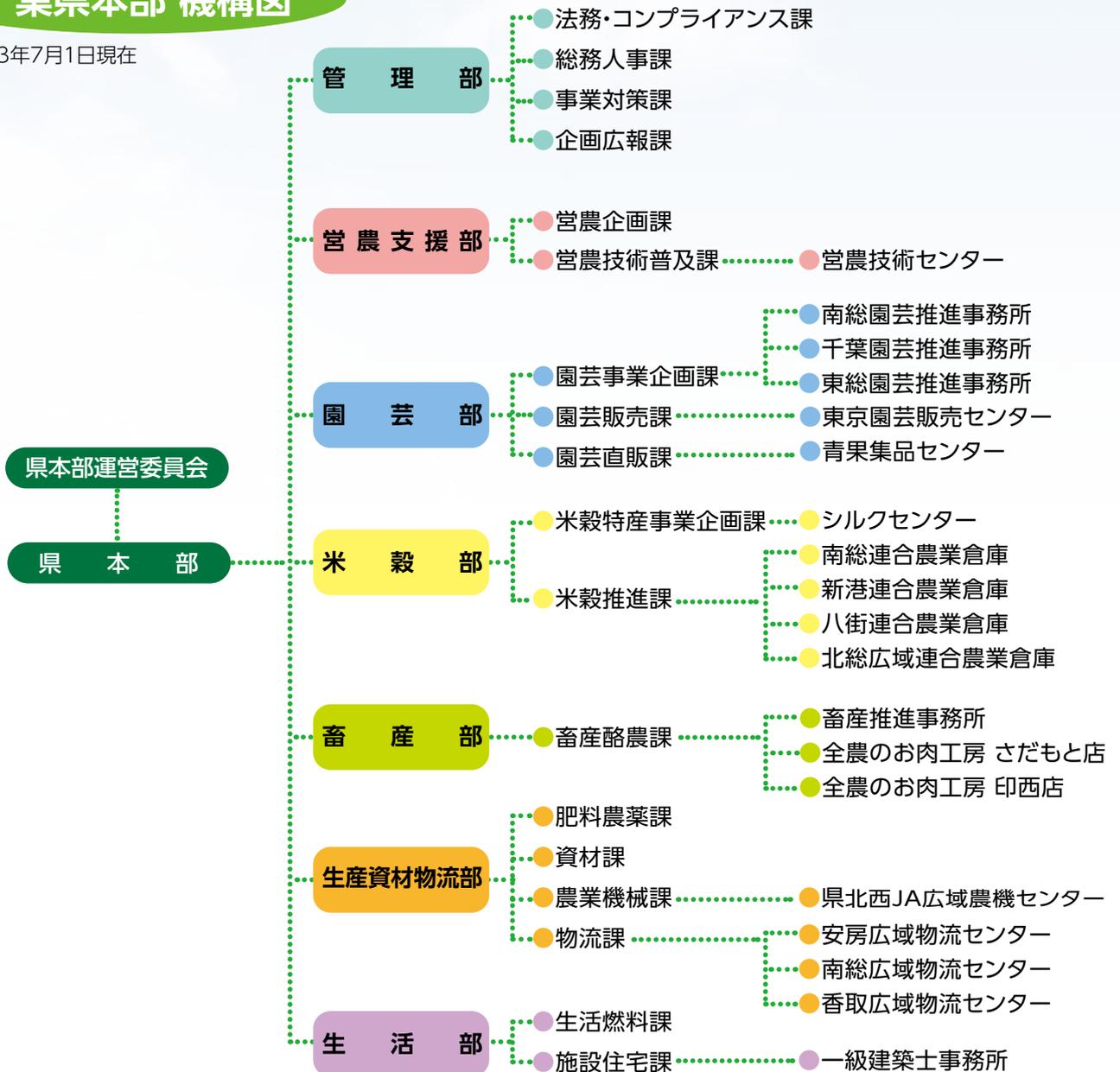


# 令和元年度 全農千葉県本部 事業取扱実績



## 千葉県本部 機構図

令和3年7月1日現在



# 事務所・事業所一覧

●農業会館内 〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6

## 管理部

法務・コンプライアンス課	☎043-245-7401
総務人事課	☎043-245-7370
事業対策課	☎043-245-7358
企画広報課	☎043-245-7360

## 営農支援部

営農企画課	☎043-245-7390
営農技術普及課	☎043-245-7373

## 園芸部

園芸事業企画課	☎043-245-7378
園芸販売課	☎043-245-7389
園芸直販課	☎043-245-7385

## 米穀部

米穀特産事業企画課	☎043-245-7374
米穀推進課	☎043-245-7375

## 畜産部

畜産酪農課	☎043-245-7381
-------	---------------

## 生産資材物流部

肥料農薬課	☎043-245-7387
資材課	☎043-245-7379
農業機械課	☎043-245-7393
物流課	☎043-245-7406

## 生活部

施設住宅課	☎043-245-7395
-------	---------------

●総合センター 〒261-0002 千葉市美浜区新港70-3

## 生活部

生活燃料課	☎043-247-1411
-------	---------------

## 子会社

●(株)ジェイエイライフ・千葉

〒261-0002 千葉市美浜区新港70-3  
☎043-302-0983

## 事務所・事業所

営農技術センター  
〒286-0045 成田市並木町大久保台221-81  
☎0476-22-5131

南総園芸推進事務所  
〒297-0102 長生郡長南町本台628  
☎0475-47-4485

千葉園芸推進事務所  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6  
☎043-245-7378

東総園芸推進事務所  
〒286-0045 成田市並木町大久保台221-81  
(営農技術センター内)

東京園芸販売センター  
〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
☎03-3790-6408

青果集品センター  
〒270-1444 柏市若白毛1124-6  
☎04-7190-1377

シルクセンター  
〒260-0013 千葉市中央区中央4-10-12  
☎043-222-9195

畜産推進事務所  
〒289-2505 旭市鎌数6354-3  
☎0479-64-1262

全農のお肉工房さだもと店  
〒299-1133 君津市貞元133-1  
・問い合わせ先:畜産酪農課 ☎043-245-7381

全農のお肉工房印西店  
〒270-1334 印西市西の原4-3  
・問い合わせ先:畜産酪農課 ☎043-245-7381

県北西JA広域農機センター  
〒278-0012 野田市瀬戸974-1  
☎04-7138-3556

安房広域物流センター  
〒299-2503 南房総市石堂45-1  
☎0470-40-4191

南総広域物流センター  
〒297-0102 長生郡長南町本台628  
☎0475-40-5321

香取広域物流センター  
〒287-0026 香取市大根703-2  
☎0478-79-5580

一級建築士事務所  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6  
☎043-245-7396

# 千葉県農業の概要

令和元年 農業産出額 千葉県 3,859億円(全国第4位)  
(全国 8兆9,387億円)



## 千葉県主要農産物産出額の全国順位 令和元年産

1位



ねぎ

産出額 151億円  
全国における割合 11%  
②埼玉 ③茨城



だいこん

産出額 94億円  
全国における割合 12%  
②北海道 ③青森



日本なし

産出額 91億円  
全国における割合 14%  
②鳥取 ③茨城



らっかせい(からつき)

産出額 72億円  
全国における割合 84%  
②茨城 ③神奈川



さやいんげん(未成熟)

産出額 50億円  
全国における割合 19%  
②北海道 ③福島



かぶ

産出額 32億円  
全国における割合 28%  
②埼玉 ③青森



マッシュルーム

産出額 20億円  
全国における割合 33%  
②山形 ③茨城



しゅんぎく

産出額 17億円  
全国における割合 12%  
②群馬 ③大阪



みつば

産出額 11億円  
全国における割合 17%  
②茨城 ③愛知



なばな

産出額 11億円  
全国における割合 31%  
②徳島 ③香川



かいわれだいこん

産出額 6億円  
全国における割合 38%  
②福岡 ③北海道



ストック

産出額 6億円  
全国における割合 33%  
②山形 ③鳥取

2位



さつまいも

産出額 176億円  
全国における割合 19%  
①茨城 ③鹿児島



にんじん

産出額 102億円  
全国における割合 22%  
①北海道 ③徳島



すいか

産出額 70億円  
全国における割合 13%  
①熊本 ③山形



えだ豆(未成熟)

産出額 41億円  
全国における割合 11%  
①山形 ③群馬



さといも

産出額 37億円  
全国における割合 11%  
①埼玉 ③宮崎



とうもろこし

産出額 31億円  
全国における割合 9%  
①北海道 ③茨城



そらまめ(未成熟)

産出額 8億円  
全国における割合 15%  
①鹿児島 ③茨城



びわ

産出額 7億円  
全国における割合 21%  
①長崎 ③鹿児島

3位



キャベツ

産出額 70億円  
全国における割合 8%  
①愛知 ③群馬



ほうれんそう

産出額 70億円  
全国における割合 8%  
①埼玉 ③群馬



やまのいも

産出額 26億円  
全国における割合 6%  
①北海道 ③青森



しょうが

産出額 26億円  
全国における割合 11%  
①高知 ③熊本

資料：令和元年千葉県農業産出額

## ●千葉県農業産出額の全国順位(令和元年)

(単位：億円)

順位	総産出額	耕種計	豆類	イモ類	野菜	花き	生乳	豚	鶏卵
1	北海道 12,558	北海道 5,207	北海道 421	北海道 542	北海道 1,951	愛知 545	北海道 3,945	鹿児島 847	茨城 453
2	鹿児島 4,890	茨城 2,976	千葉 73	茨城 308	茨城 1,575	千葉 174	栃木 369	宮崎 521	千葉 326
3	茨城 4,302	千葉 2,609	宮城 22	鹿児島 272	千葉 1,305	福岡 168	熊本 276	北海道 455	鹿児島 263
4	千葉 3,859	青森 2,253	秋田 21	千葉 207	熊本 1,220	静岡 164	岩手 234	千葉 442	岡山 241
5	宮崎 3,396	長野 2,242	兵庫 21	長崎 105	愛知 1,010	埼玉 152	千葉 226	群馬 430	広島 215

資料：令和元年農業産出額、農林水産省

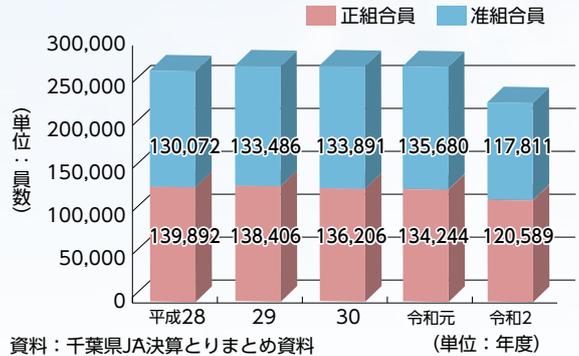
※耕種計には、米、麦類、雑穀・豆類、イモ類、野菜、花き、工芸農作物、種苗・苗木類・その他を含む

※表項目以外の産出額第10位以内は、第8位の米(689億円)

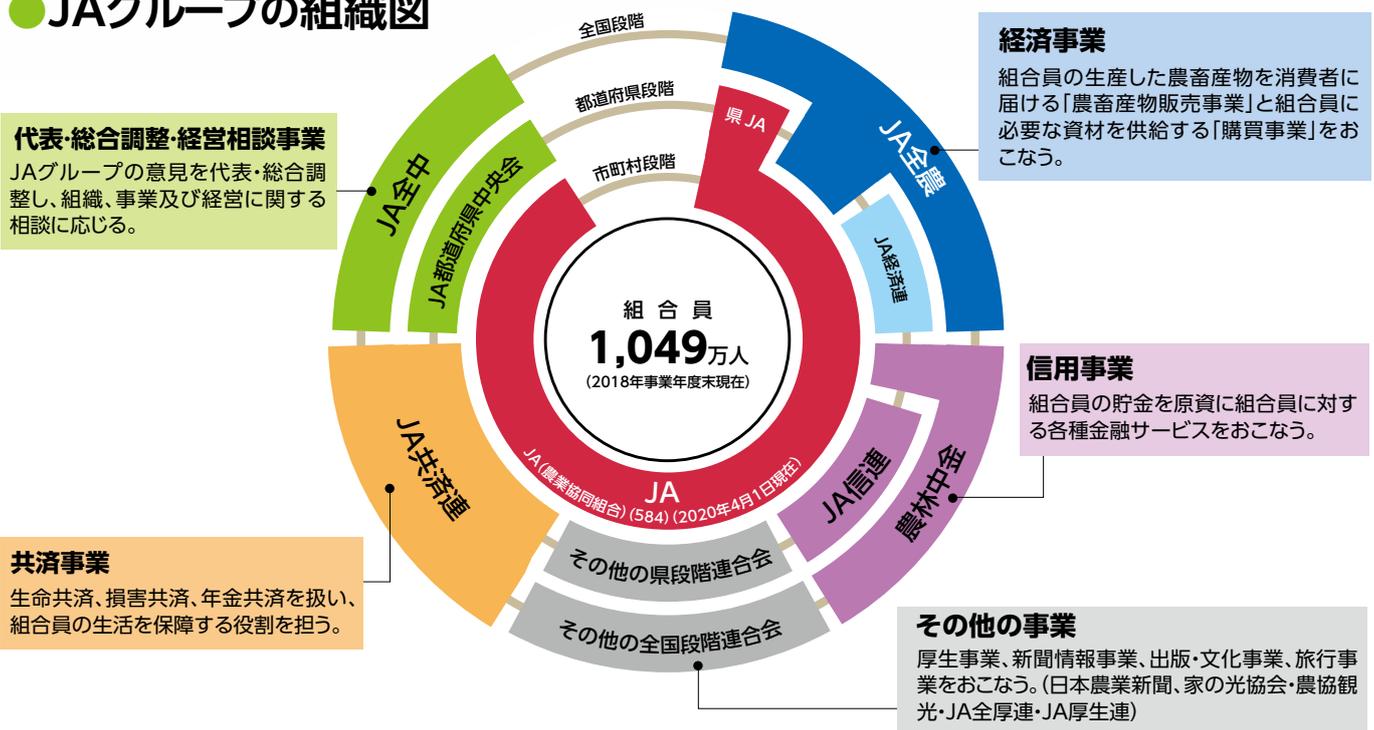
## ●耕地面積の推移《千葉県》



## ●JA組合員の推移《千葉県》



## ●JAグループの組織図





## ● 経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を  
安心して結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

 JA全農ちば

全国農業協同組合連合会千葉県本部

[ HP ]



[ 公式 Instagram ]



[ 公式 Youtube ]

